

10 月

## 【給食】たてわり給食

目標：たてわり給食を通して、異学年交流を深める

《今年度の新しい取り組みとその趣旨》

- ・ 2つの学年のたてわり班を組み合わせた形式から、全学年を通したたてわり班を組み合わせた形式にしたこと。
- ・ 今年度から新しいたてわり班にしたため、班内の交流をできるだけ深めたい。また、新しいたてわり班での子どもの関係性を多面的に見ていくため。

## 【2年】秋刀魚・竹



### ①竹の皿を作る

1学期は小刀を用いて竹の箸を作った。2学期は秋刀魚を食べるための皿作りに挑戦した。班で協力しながら、のこぎりで必要な長さの竹を切っていく。竹はかたく、最初は思うように切れなかったが、徐々にコツを掴み、交替しながら自分達の力で切ることができた。切れた瞬間の子どもたちのとても満足げな表情、嬉しそうな表情が印象的であった。

### ②秋刀魚を焼いて食べる

保護者ボランティアの方の力を借りながら、新聞紙や割り箸、薪をセットして、自分たちで火おこしを行った。煙で目が沁みる中、焼き上がっていく秋刀魚を、待ち遠しそうにじっと見つめる子どもたち。焼き上がると、自作の竹の皿に大事そうにのせて、秋の味覚である秋刀魚を味わった。1人1匹であったが、多くの子が頭と大きな骨だけを残してきれいに食べていた。 (実践記録より)

竹を用いた学びでは、子どもたちが竹を切って竹皿を作ったことに驚きましたし、秋刀魚の炭火焼を通して、炭や木を乾燥させる準備から、火をおこし、薪の組みかたや火を観察する体験は、とても大切だと感じました。(…中略…) 先日の秋刀魚の味は格別だったようで、「本当に美味しかった。うちのと全然違う。内臓も初めて食べたよ。」と感激と興奮でいっぱいでした。 (保護者の感想)

## 【3年】鶴ヶ島市農家訪問

10月31日は、校外学習として鶴ヶ島市の農家を訪問しました。春に続いて2回目の訪問でした。2学期も野菜作り活動を進めて行く中で、子どもたちの中から「もう一度鶴ヶ島へ行きたい」という声が9月の中頃からあがっていました。春とは違った農家の風景、育てている野菜の種類など様々な気づきがあったと思います。そして何より、2学期の野菜作りの“人に食べてもらう野菜を作る”という目的にとっては、今回の校外学習はとても重要な意味があると思います。(以下略)

(「学年だより」より)



給食で食べてほしいなあ・・・  
売れるかな？

## 【3年】野菜を育てる(継続活動)

- 育てる野菜の決定(9月): 秋から冬に育てられる野菜について話し合い、決定する。
- 役割分担の決定(9月): 4つの仕事に分けて、各仕事での役割分担を決める。
- 畑作り・種まき(9~10月): 耕田・畝作り、種まきを協力して行う。
- 育てる・観察(10月~): 各仕事に分かれて、野菜の世話をを行う。  
個人で野菜の成長を観察して記録する。
- 校外での活動(10月~): 鶴ヶ島市の農家での体験活動を行う。  
市場・店頭での調べ学習を行う。(計画中)

以後継続

## 【4年】味覚の授業～帝国ホテル総料理長による授業～

ねらい

給食時間、子どもたちに感想を聞くと「おいしい」という声を聴くことができ、食事を楽しんでいる様子を感じられる。しかし、子どもたちの表現は「おいしい」という一言にとどまることが多く、どんな味なのか、どんなところが好きなのかたずねるとなかなか言葉にすることができない。子どもたちには与えられたものをただ食べるのではなく、味や食感を楽しみながら食べること、味の受け止め方や表現の仕方を自分なりに広げることが大切にしてほしいと考えている。子どもたちが「味わうこと」を考え直すきっかけとするため、味覚のプロとも言えるシェフを招いて話を聞く機会を設けることにした。（実践記録より）

- ふつうにおいしいなどだけ思いながら食材を食べていたけれど、今回におい、音、味、見た目、かたさを感じながら食べたから、いつもより苦み、うま味、塩味、甘味、さん味をとってもよく知ることができ、むずかしい言葉でもひょうげんできるようになった。
- コンソメスープを転がすようにして味わう場所を変えてみると、奥で飲む方がおいしかった。そしてぼくはりょう理にあった食べ方があると思いました。
- 人によってちがう発想があって面白かった。（児童の感想）



## 【4年】秋の味覚狩り遠足

「1学期学習したことを活かして、関連のあることを深めていきたい」「〇〇に行きたい！」等の子どもたちの希望をふまえ、様々な候補地を検討した結果、埼玉県秩父市へ、秋の味覚狩りと、伝統工芸を学びに行くことになりました。

## 【3年、4年】さつまいも掘り(郊外園活動)

☆初めてのおいもほり☆

サツマイモ掘りはからみあつたつるを刈ることから始まります。今回は郊外園の管理の方や先生が、汗だくになって高速草刈り機でつるを刈ってくださったおかげで、つると葉を片付ける作業から始まりました。でもこれだけでもう1時間の作業。ようやく始まったおいもほり。でも土にうまつたおいもを掘るのもなかなか大変で、みんな汗だくで、やっとのことでサツマイモを掘りました。台風の影響もあってうねによっておいものできはまちまちでしたが、たてわり班で力を合わせて初おいもほりは大成功！お天気にも恵まれ、楽しい1日になりました。

(「4年帰国児童学級だより」より)

